

## 第1回 南三陸町震災復興計画推進会議

と き 平成25年9月17日（火）

18:00～20:00

ところ 南三陸町志津川保健センター  
2階会議室

### 次 第

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 挨拶 南三陸町長 佐藤 仁
- 4 委員・事務局紹介
- 5 委員長・副委員長選出
- 6 委員長挨拶
- 7 会 議
  - (1) 会議の目的・進め方に関する説明
  - (2) 事前書き込みシートに関する報告
  - (3) 検討テーマ・順番に関する話し合い
  - (4) グループ代表による発表
  - (5) とりまとめ
- 8 復興計画の概要説明
- 9 事務連絡
- 10 閉 会

### (資料)

- ・資料1 南三陸町震災復興計画推進会議委員名簿 (添付省略)
- ・資料2 第1回南三陸町復興計画推進会議 座席配置図 (添付省略)
- ・資料3 南三陸町震災復興計画推進会議設置運営要綱
- ・資料4 グループ討議の進め方について
- ・資料5 事前書き込みシートに関する報告【委員の皆さんのご意見のまとめ】
- ・資料6 南三陸町震災復興計画【概要版】
- ・資料7 東日本大震災からの復興状況 ～南三陸町の状況～ (添付省略)

第2回 復興計画推進会議の予定：

平成25年10月21日（月）18:00～20:00

南三陸町志津川保健センター 2階会議室

## 南三陸町震災復興計画推進会議設置運営要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、東日本大震災からの復興に向け、南三陸町震災復興計画（以下「復興計画」という。）の円滑かつ迅速な進行を図るため、南三陸町震災復興計画推進会議（以下「推進会議」という。）を設置し、もって住民が主体となった復興を推進することを目的とする。

### (所掌事項)

第2条 推進会議は、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) 復興計画の円滑な進行に関すること。
- (2) 復興計画及び復興まちづくりに関し、必要な要望や提案に関すること。

### (組織)

第3条 推進会議は、委員25人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 地域において活動する団体から推薦された者
- (3) その他町長が必要と認める者

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の在任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

### (委員長及び副委員長)

第5条 推進会議に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総括し、推進会議を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときはその職務を代理する。

### (会議)

第6条 推進会議の会議は、必要に応じ委員長が招集する。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ意見を聴くことができる。

### (庶務)

第7条 推進会議の庶務は、企画課において処理する。

### (委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が別に定める。

### 附 則

#### (施行期日)

1 この告示は、平成25年8月2日から施行する。

#### (経過措置)

2 この告示の施行日以後、最初に委嘱された委員の任期は、第4条第1項の規定にかかわらず、平成27年3月31日までとする。

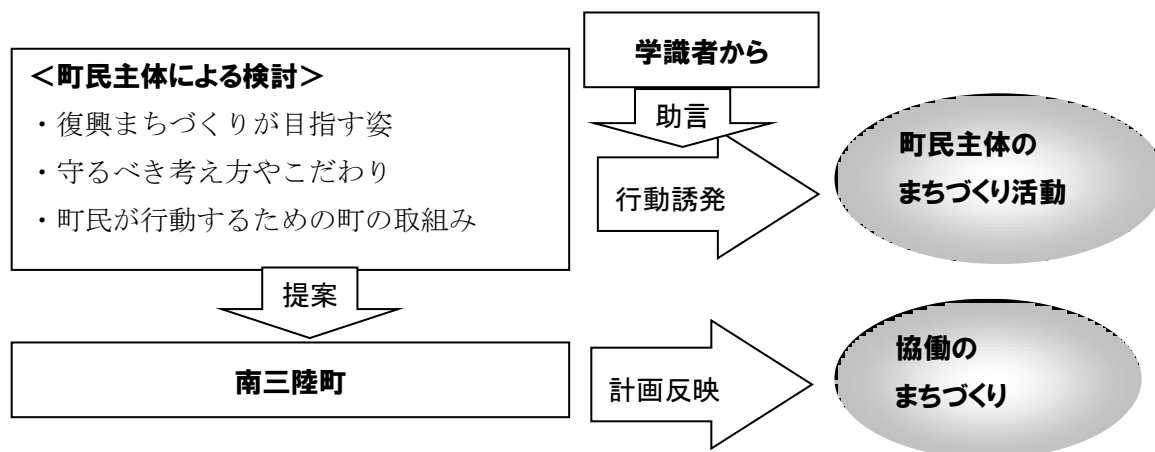
## 南三陸町復興計画推進会議の進め方について

### 1. 推進会議の運営方針

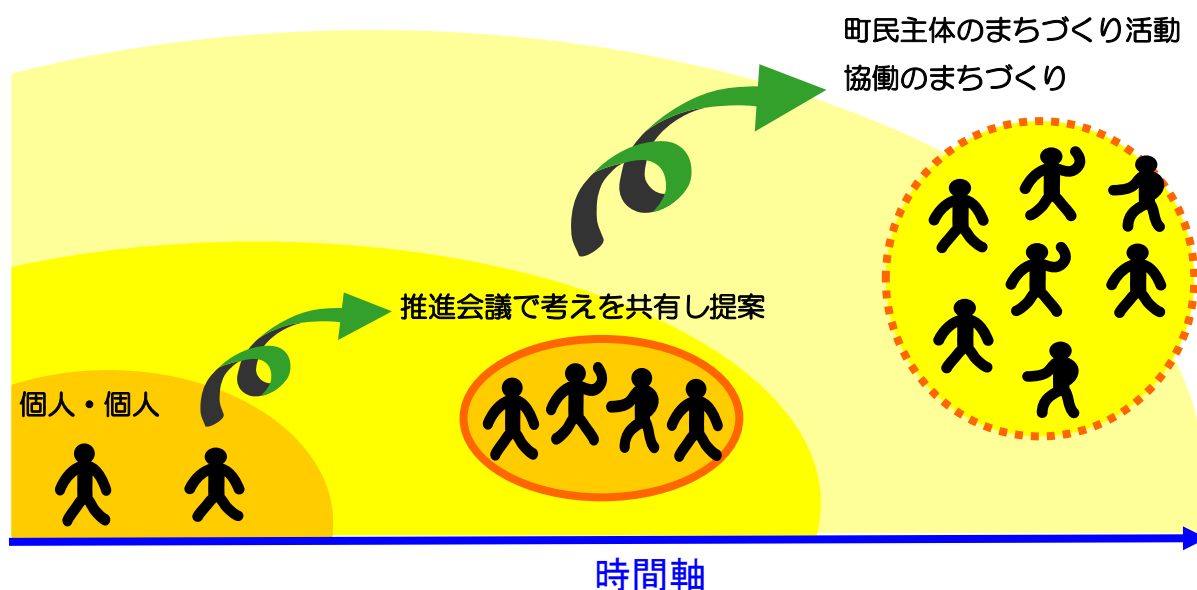
#### ◎町民主体による検討と復興推進の「きっかけ」づくり

復興計画に基づく事業の進捗により、町民一人ひとりの生活レベルの復興が徐々に本格化しつつも、町民感情としては未だ復興が進んでいるとは言えない状況であり、また、震災後2年5ヶ月が経過した現在、復興計画の策定当初では予測できなかった町を取り巻く環境の変化が明らかになってきています。

そこで、町民が検討主体となる復興計画推進会議を設置し、日常的で身近な話題から議論を始め、復興まちづくりの目指す姿、本町としてのこだわりを明らかにし、復興に向けて町民自らが行動するための“きっかけ”とするほか、とりまとめた町民意見を震災復興計画に反映していきます。



<参考：推進会議から町民主体のまちづくり活動・取組み実現への展開のイメージ>



## 2. 推進会議の進め方

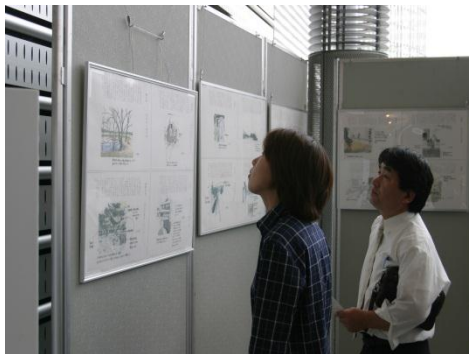
### (1) 各推進会議の検討項目

検討テーマを複数選び、テーマごとに3～4回ほどの会議を開催していきます。特に、「テーマについての背景や問題点について探る会議」と「テーマの検討・まとめの会議」はグループに分かれて進めます。（\*次ページ参照）



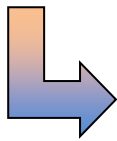
検討テーマを繰り返して

## ●グループ会議の進め方のイメージ



### ●テーマの背景や問題点を探る

選んだテーマについて事務局の調べた背景や現状などの資料をもとに背景や問題点を探ります。また、参考事例などの紹介を受けます。



### ●グループ討議

グループごとに各テーマについて意見を出し合い、以下の手順で考えを共有・整理・記録します。

- 1) 問題点・目標像の共有
- 2) わたしたちの方針作成



### ●発表・とりまとめ

各グループでの検討成果発表しあい、会議の意見をまとめます。その際に実行していく主体（住民、事業者、役場）の役割分担も整理します。

## ●会議運営の基本ルール

町民委員一人ひとりがそれぞれに考えに基づき発言でき、検討テーマの学習や相互の意見交換を通じた検討成果をもとに、創造的な提案ができるようにします。

### 委員

#### 自ら考える

町民主体のまちづくり行動に結び付けられるよう、検討するテーマを含めて委員自ら考えます。

#### 積極的に学ぶ

復興計画の背景、まちを取り巻く環境変化や成功事例を積極的に学び、確実なまちづくりにつなげます。

#### 共に創造する

自らの思いをつらぬくだけではなく、お互いの意見を尊重し、共に創造して提案します。

### 学識者委員

議論の共有・アドバイス

<グループ編成（案）>

まち全体の復興の推進方法を立場や地域にこだわらず検討するため、所属団体や地域が偏らないグループ編成とします。

表 南三陸町震災復興計画推進会議グループ編成案 <敬称略>

	推薦団体
地区代表	志津川地区まちづくり協議会
	伊里前地区まちづくり協議会
	戸倉地区まちづくり協議会
	入谷地区婦人部長連絡会
	すばらしい志津川をつくる会
	すばらしい歌津をつくる協議会
	すばらしい戸倉をつくる会
商工業団体	南三陸商工会
	宮城県漁業協同組合 志津川支所
	宮城県漁業協同組合 歌津支所
	南三陸農業協同組合 志津川支店
復興支援	社会福祉協議会 (被災者生活支援センター)
	社会福祉協議会
	宮城大学地域連携センター 南三陸復興ステーション
教育関係	南三陸町PTA連合会
	南三陸町志津川小学校
	派遣職員代表

## 事前書き込みシートに関する報告【委員の皆さんのご意見のまとめ】

皆さんに頂いた書き込みシートを事務局で集計・類型化し、タイトルをつけさせていただきました。

### 1. 今の復興への思いについて

#### 1) 意見の類型

「未来につながる新しいまちづくりをしたい」、「南三陸の良さを活かして復興したい」、「賑わいのあるまちづくりを望む」ことが思いとしてあげられています。

未来につながるまちづくりをしたい

- ・未来の子供たちのためにまちづくりをしたい。
- ・復旧にとどまらず既成概念にとらわれないまちづくりを望む。

南三陸の良さを活かして復興したい

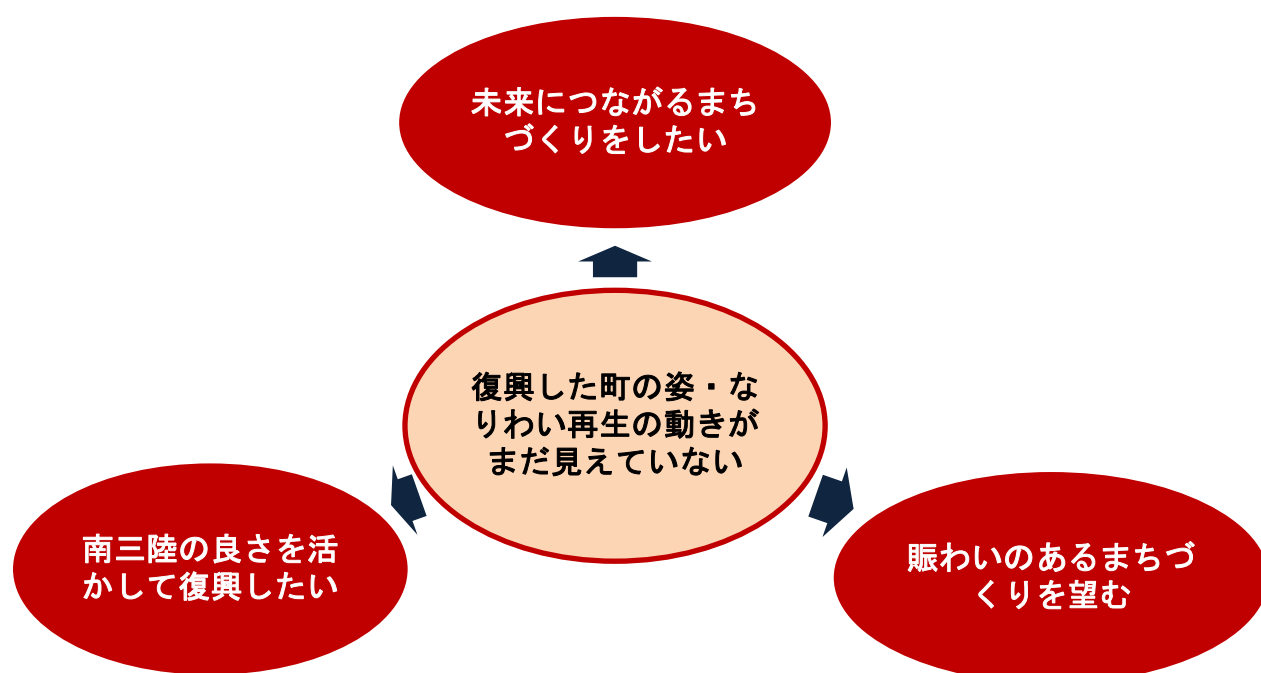
- ・震災以前の南三陸の良さを活かしたまちにする。
- ・今の現状を風化させないよう後世に伝える。
- ・もとのまちに戻す。・素晴らしい故郷をつくる。

賑わいのあるまちづくりを望む

- ・たくさんの観光客に来て賑わいのあるまちづくりを望む。
- ・働き続けることが復興。

#### 2) 復興の思いの背景・構造

壊滅的な被害を受けた震災から2年6か月を経過しましたが、復興した町の姿やなりわいなどの再生の動きが町民のみなさんにまだ見えていないようです。そのような背景のもと「(前を向き) 未来につながるまちづくり」「南三陸の良さを活かした復興」「賑わいのあるまちづくり」に対する思いが示されたものと考えます。



## 2. 現状への課題や不安について

### 1) 意見の類型

「人口減少や雇用の場の減少」、「まちづくり全体のコンセプトが見えないことやまちづくりの遅れ」「生活サービスや観光客の減少」が課題や不安としてあげられています。

人口が減る・生活サービスが低下する

- ・人口流出による町の独立性の低下が不安。
- ・雇用が維持できず住民減少を懸念。
- ・（人口減で）教育・医療・福祉サービスが低下する。

まちづくりが見えない

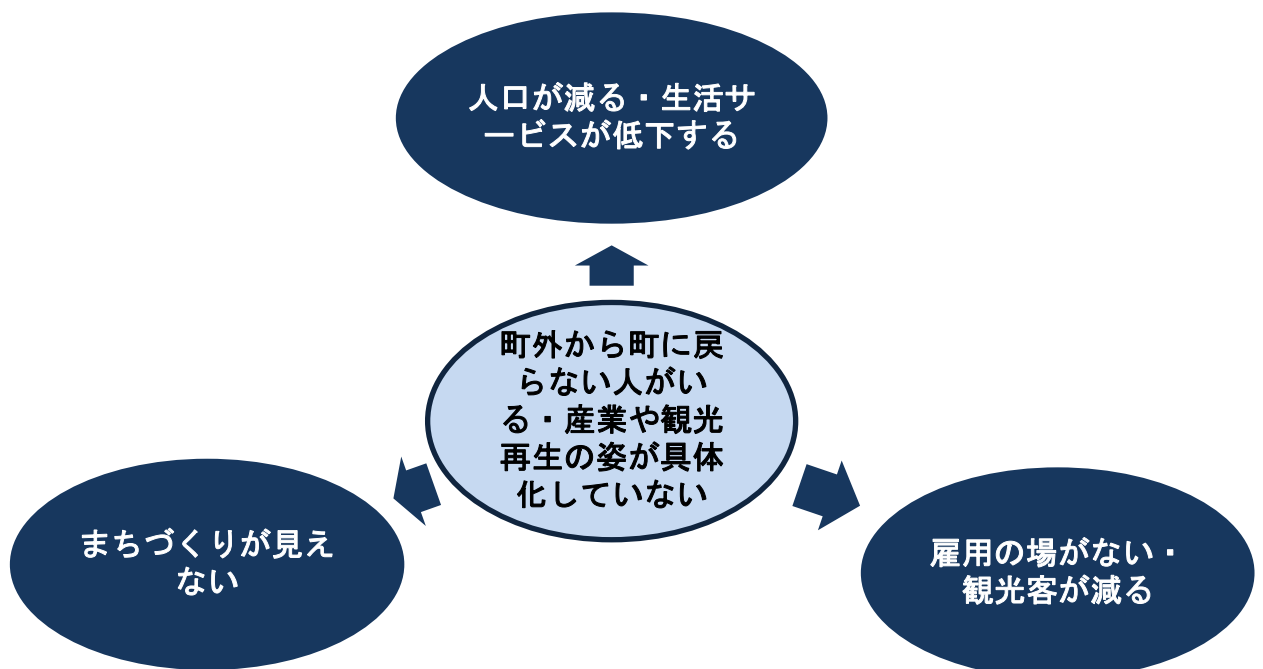
- ・まちづくりコンセプトや復興後の生活が見えない。
- ・漁村地区のまちづくりが決まらない。
- ・復興の遅れによる復興意欲低下。

雇用の場がない・観光客が減る

- ・仕事がなくなり南三陸町の将来が不安。
- ・（観光再生の姿が見えず）観光客の減少が不安。

### 2) 課題・不安の背景・構造

被災で多くの方が亡くなり、また、町外に避難したまま戻らない人がいること、農林水産業や観光などの再生の姿が具体化していないことを背景に、「人口減少や生活サービスの低下」、「まちづくりが見えない」「雇用の場がない・観光客が減る」といった課題や不安が示されたものと考えます。





### 3. 会議で検討してほしいテーマとその理由

#### 1) 検討してほしいテーマ ( )内は選択人数(N=14人:複数回答)

未来を託す子供に良い住環境を提供するための「住宅や住まいの検討」、生活の糧を得る「仕事と生活の両立」、まちの自然の恵みを認識し活かすための「川や海と親しむ環境整備、川や海・里山の保全の検討」、次世代のクリーンシティ形成にむけた「再生エネルギーの検討」、南三陸の人口・活力を減らさないための「農林水産業の再生」、「収入・雇用確保」、「交流」などが多く回答されました。

#### 暮らし

- ・住宅やすまい (5)
- ・仕事と生活の両立 (3) ・買い物や通院 (2)
- ・生涯教育 (2) ・避難所・避難路確保 (2)
- ・育児や幼稚園・保育園 (2) ボランティア活動 (2)
- ・学校教育 (2) ・地域文化 (2) ・地域活動 (1)
- ・公共交通・移動手段 (1) ・ユニバーサル条例制定 (1)

#### 環境

- ・川や海と親しむ環境整備 (7)
- ・川や海・里山の保全 (4)
- ・再生エネルギー (3)
- ・環境美化活動 (2)
- ・癒しのまちづくり (1)

#### 仕事・賑わい

- ・農林水産業の再生 (4)
- ・収入・雇用確保 (3)
- ・復興応援者と交流 (3)
- ・起業支援 (2)
- ・賑わう商店街 (2)
- ・集客施設 (1) ・福利厚生 (1)
- ・定住策 (1) ・観光活性

## <選んだ理由>

### <暮らしに関する検討テーマ>

- **住宅や住まい**  
(理由) 子供たちに落ち着いた住環境提供が必要、今後の住まいに不安がある
- **仕事と生活の両立**  
(理由) 生活の糧を得る仕事が重要だから、独自の就労支援が必要だから
- **買い物や通院**  
(理由) 魅力ある町として重要だから、町の中だけでは必要なものが揃わないから
- **生涯教育**  
(理由) 防災教育が生涯のテーマだから
- **ユニバーサル条例制定**  
(理由) 超高齢化対策が必要だから
- **安全な避難場所や避難路確保**  
(理由) 高台への避難路がわからない、安全の確保が必要だから
- **地域活動**  
(理由) 住民同士の繋がりが重要だから
- **育児/学校教育**  
(理由) 子供が育つ環境が必要だから
- **地域文化**  
(理由) 文化と教育が重要
- **公共交通・移動手段**  
(理由) 遠くに用事があるから

### <環境に関する検討テーマ>

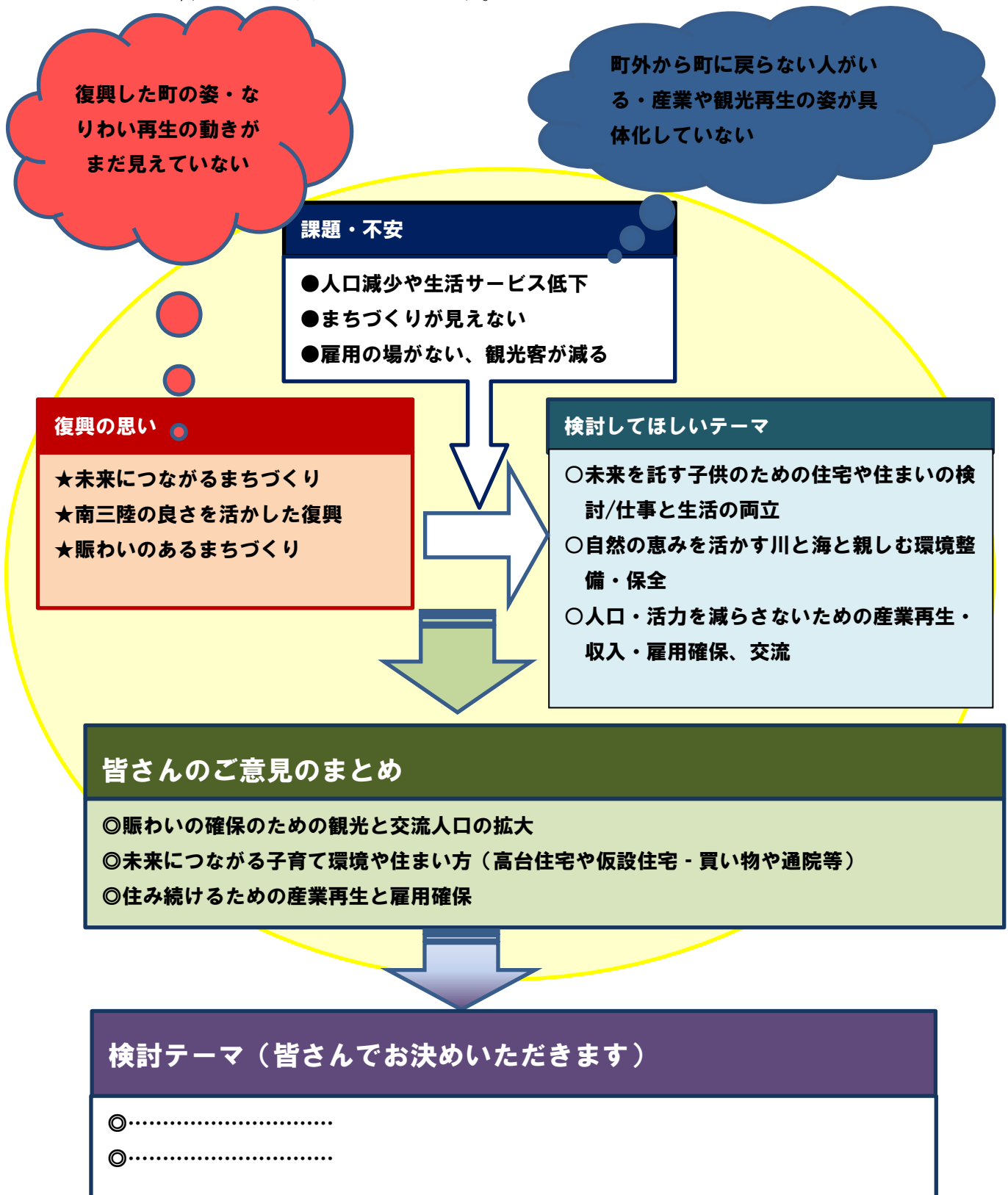
- **川や海と親しむ環境整備**  
(理由) 海と親しむ体験が重要。漁業体験が必要だから
- **川や海・里山の保全**  
(理由) 山や海の自然の恵みが重要。南三陸の自然の良さを捉えなおす
- **再生エネルギー**  
(理由) 災害に備えて重要だから。次世代クリーンシティに必要なだから  
小水力発電を導入。

### <仕事や町の賑わいに関すること>

- **農林水産業の再生**  
(理由) 最大の課題だから。水産業の復興なくして町は復興しないから
- **収入や雇用確保**  
(理由) 働く意欲のある人が働けるために。南三陸に人が残るために必要だから
- **復興応援者との交流**  
(理由) この町で学べる命を伝えるのが賑わいにつながる
- **集客施設**  
(理由) 地元の商店が引き立つ共同経営を求む。大型店舗進出を後押ししたい
- **観光活性化/集客施設**  
(理由) 観光で交流を拡大するため
- **福利厚生**  
(理由) パートが安心して働けるため
- **南三陸への定住化**  
(理由) 全国から南三陸に住んでもらうことが必要だから

## 2) 皆さんのご意見のまとめと検討テーマの方向

皆さんの復興への思い、現在の課題や不安、多くの方が検討してほしいテーマを「未来につながる子育て環境や住まい方」「住み続けるための産業再生と雇用確保」「賑わうための観光と交流人口の拡大」にまとめました。具体的な検討テーマは皆さんでお決めいただきます。



#### 4. その他（推進会議に対する自由意見）

皆が自由に発言できる会議の進行や、復興計画自体の内容や他の市町村の進行状況、復興に関しての情報を知りたい、あまり先ではなく数年先のことを検討したい、との意見があり、推進会議運営に反映していきます。

自由に話せる場づくりを期待

- ・皆が自由に話せる場づくりを期待。
- ・住民の意見を活かして適宜軌道修正すべき。

復興計画や他の町の状況・復興事例を知りたい

- ・町の復興計画の内容を知りたい
- ・被災した他の町の復興状況を知りたい。
- ・復興についていろいろな話を聞いてみたい。

次世代先のことも数年先のことも話し合う

- ・未来を託す子供たちの時代を考える
- ・3～5年後の将来を話し合う。
- ・話し合いで決まらなければ行政が決めてほしい。



#### 推進会議の運営に反映

- 自由に話せる場づくり/●復興に関する情報提供/●次世代・近未来を検討